

■ 学習分析学会、教育システム情報学会関東支部合同開催 ■
 オンライントークイベントシリーズ
 「質の高いオンライン授業に向けて～春学期の授業実施を踏まえて～」
 第1回「オンライン授業の立ち上げと運用」
 2020年08月07日(金) 18:00～19:00(オンライン)

早稲田大学の取り組み

一早稲田大学グローバルエデュケーションセンター
 (GEC)の取り組み一

松居 辰則(matsui-t@waseda.jp)
 早稲田大学人間科学学術院
 教務部副部長
 グローバルエデュケーションセンター所長

2020年春学期の早稲田大学

- 13学部, 22研究科
- 学生数51,723, 教員数5,490(専任以外3,478), 職員数1,235(嘱託等を含む)
- 科目数は19,506(学部), 7,098(大学院)(2018年度実績, コマ数基準)
- 早い段階で決定(2020年2月)
 - 卒業式, 入学式等すべての行事を中止
 - 構内立入制限
 - 図書館等, すべての施設の閉鎖
 - **すべての授業のオンライン化**
 - すべての課外活動(ボランティア活動, インターンシップ等)の制限
- **新規LMS(Waseda Moodle)の導入**
- 支援体制
 - 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
 - 現在までに27回開催
 - 教務部
 - すべての(よろず)相談・クレーム対応・支援
 - 大学総合研究センター(CTLT(Center for Teaching, Learning and Technology))
 - 教員支援(セミナー開催, 相談窓口等)
 - 情報企画部
 - 情報環境支援(LMS運営・整備, PCの貸し出し, Wifi環境の手配等)
 - 支援サイトの運営(TeachAnyWhere, LearnAnyWhere)
 - 学生部
 - 奨学金, 一時支援金



Global Education Center

The Global Education Center (GEC), formerly the Open Education Center and Media Network Center until 2013, began its operations in earnest in the academic **year 2014**.

Mission

- The aim of the GEC is **to provide all Waseda students with academic skills** and **to produce true leaders** who are equipped with abilities to solve problems with an international perspective in any local communities in the world.

Education Program for Global Education

Over 2,000 subjects and courses, which are categorized into...

1. Academic Literacy Development【基盤教育】

- Academic Writing 【フルオンライン+対面セッション】
- English
- Mathematics 【フルオンライン+対面指導】5,000名/年
- Data Science 【フルオンライン+対面指導】8,000名/年
- Information Science

2. Liberal Arts

- “University-wide Minor Programs” and “Practical Education Programs”

3. Foreign Languages

- more than 20 language courses

4. Self Competency Development【人間的力量】

- Leadership Development, Cooperation with Local Community, Volunteer, Career Design, Diversity, Business Creation

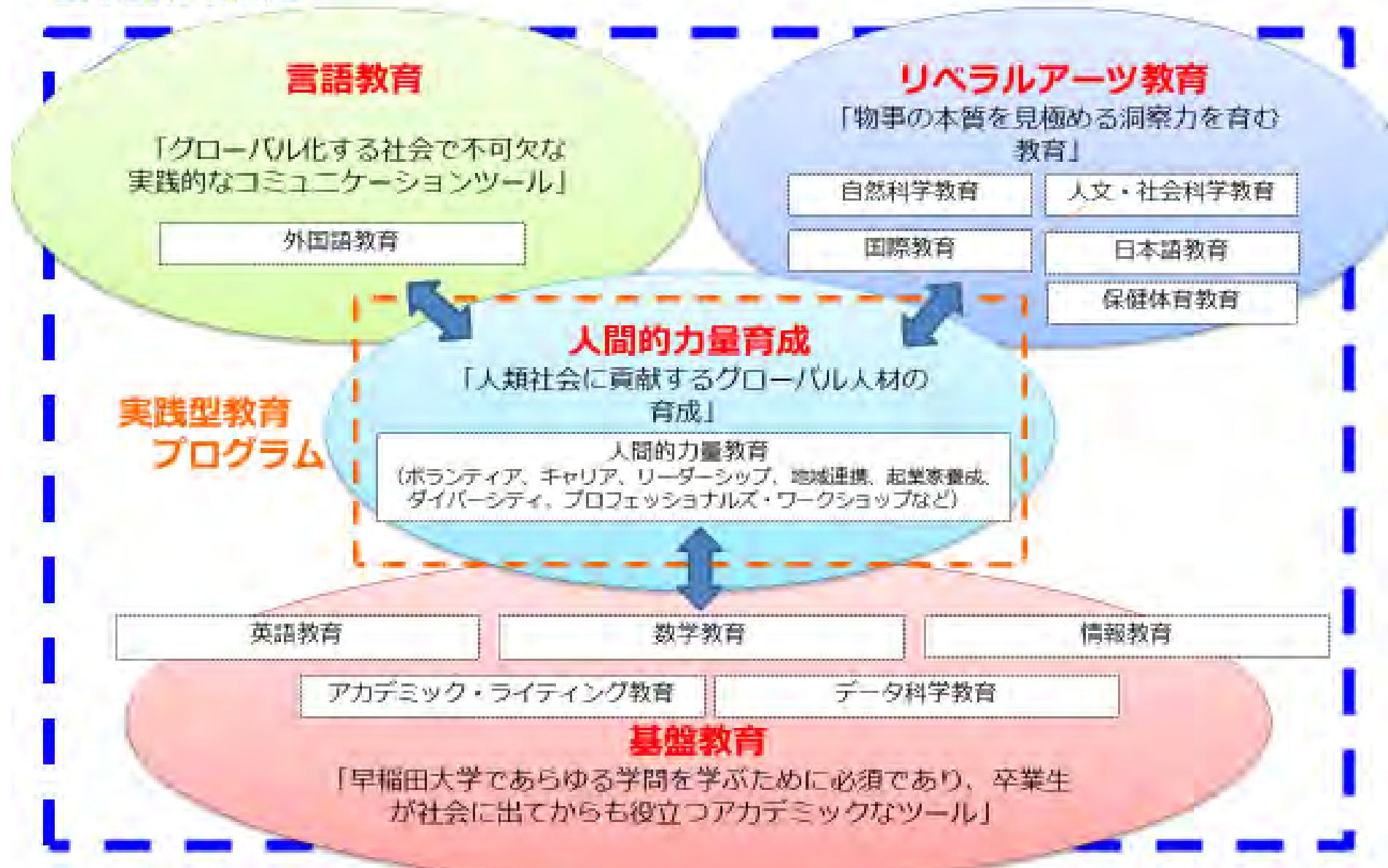
All Students

- 13 Undergraduate Schools
- 22 Graduate Schools
- Specialty Education
- Research and Development
- Career Design
- Global Activities
- Etc..

Basis & Completion

GECの提供する教育プログラム

全学副専攻制度



GECの特徴ある科目での対応(一部、松居の私見による)

科目名	通常	現在～今後	印象
アカデミック・ライティング	ライター(学生)とチュータ(指導員)との1対1の対面セッション(添削)	LMS(Waseda Moodle)の機能を利用したオンラインセッション	○
General Tutorial English	学生4名とチュータ1名の対面セッション(コミュニケーション中心)	Moodle Collaborateによるオンラインセッション	○
Academic Writing and Discussion in English	学生12名と教員1名のディスカッション中心の授業とライティング課題・添削	LMS(Waseda Moodle)とZoomを用いた完全オンライン化	△
地域連携科目	地域に出向いての課題解決型のフィールドワーク	Zoomを用いてのオンラインインタビュー、プレゼンテーション	△
リーダーシップ開発	課題解決型のディスカッション、ロールプレイ融合型授業	Zoomを用いてのオンラインディスカッション、ロールプレイ	○
体験的言語化(ボランティア活動)	ボランティア活動での成果や思考の言語化を通して実践的理論を目的としたワークショップ型授業	オンラインでの協調作業ツールとZoomを用いた完全オンライン化	○
保健体育科目(実技)	実技を中心とした授業	オンデマンド映像教材による実技指導、学生は自身の実技を映像として提出と教員による評価(LMS利用)等。	△

※ 講義科目の殆どはオンライン(リアルタイム配信(Moodle Collaborate, Zoom), オンデマンド配信(Moodle), 融合)

今後について. . .

- GECでは. . .
 - 7月6日に全科目の担当者宛に秋学期の授業形態についての調査を実施
→ 「(ぜったいに)教室対面での実施」を希望する科目は殆どなし(オンラインでの実施可能)
- 全学の方針(7月15日)
 - …9月25日(金)から開始される秋学期授業は、オンライン授業を基本としながら、三密を避け、ソーシャルディスタンシングを前提とした教室利用を行うことで、教室、教場での授業を一部再開いたします。…
- 今後について(一部松居の私見)
 - 教室対面とオンラインの融合 → 教育の質的転換と学修時間の増加
 - 課題
 - 公平公正な評価の方法の定着、意識改革
 - 教室の最適配置(全学規模で教室の改造が必要か?)
 - 時間割の最適配置(キャンパス間の移動、学生の停留解消など)
 - 情報インフラの整備(LMS、動画配信システム、協調ツール、SNS等の連携と強化)
 - 教室対面とオンラインの融合を前提にした授業設計技術の普及
 - 全学的なカリキュラムの体系化と最適化
 - (余談) 学生たちの不安や不満はもっと他のところにある. . .